

観月台クラシックス

古部賢一

オーボエ・リサイタル

～知楽！博楽！音楽の知恵袋～

オーボエ：古部賢一
ピアノ：加藤昌則

共演 国見フラウエン

piano

Masanori
Kato



Program

- J.S. バッハ／シチリアーノ
- E. エルガー／愛の挨拶 Op.12
- B. ブリテン／オヴィディオスによる6つのメタモルフォーゼより[オーボエ・ソロ]
- R. シューマン／トロイメライ[ピアノ・ソロ]
- P. ヒンデミット／オーボエ・ソナタより 第1楽章
- E. モリコーネ／映画《ミッション》より「ガブリエルのオーボエ」
- 加藤昌則／アラウンド・ザ・ワールド ほか

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

2023年 開演14:00<開場13:30>

2/26日

Oboe

Ken-ichi Furube

©土居政則

国見町観月台文化センター

チケット発売日 全席自由 1/16(月)～ 9:00～

一般 1,000円(当日1,500円)

高校生以下 無料(要チケット)

プレイガイド 国見町観月台文化センター

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。
※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定しています。

主催：国見町・国見町教育委員会・公益財団法人三井住友海上文化財団
後援：福島県、福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社、ふくしまFM、ラジオ福島、FMポコ、
(公財)福島市振興公社(ふくしん夢の音楽堂)



お問合せ先

国見町観月台文化センター
(国見町教育委員会生涯学習課)
〒969-1761
福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台15番地
電話：024-585-2676 FAX：024-585-2707

三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第969回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。



古部 賢一

オーボエ

Ken-ichi Furube, Oboe



©土居政則

東京芸術大学在学中の1991年、弱冠22歳で小澤征爾が音楽監督を務めていた時代の新日本フィルハーモニー交響楽団に首席オーボエ奏者として就任以降、2020年3月まで30年間にわたり大きな功績を残した。同年4月より同団客員首席奏者となる。

1995年から翌年にかけて、ドイツ国立ミュンヘン音楽大学大学院に留学。

イタリア合奏団、ミラノ・スカラ弦楽合奏団、ザルツブルク室内管、N響室内合奏団など国内外の数多くのオーケストラのソリストとして、また、ハンブルク北ドイツ放送響（現・NDR エルプフィル）、ベルリン・ドイツ響、シュトゥットガルト室内管などにも客演首席奏者として招かれるほか、ラ・フォル・ジュルネ TOYKO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、宮崎国際音楽祭、木曽音楽祭などにもソリスト、室内楽奏者として定期的に出演。ピアノの塩谷哲、ギターの渡辺香津美、鈴木大介、箏の野坂恵璃との共演など、ジャンルを超えた活動も展開している。

東京音楽大学准教授、札幌大谷大学芸術学部客員教授、相愛音楽大学非常勤講師。2000年、第10回出光音楽賞受賞。

加藤 昌則

作曲家・ピアニスト

Masanori Kato, composer/piano

東京芸術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。作品はオペラ、管弦楽、声乐、合唱曲など幅広く、作品に新しい息吹を吹き込む創意あふれる編曲にも定評があり、多くのソリストに楽曲提供、共演ピアニストとしても評価が高い。王子ホール「銀座ふらっとコンサート Café シリーズ」（企画・ピアノ）、東京・春・音楽祭「ベンジャミン・ブリテンの世界」（企画・構成）、「日生劇場ファミリーフェスティバル」（作編曲・構成）など、独自の視点、切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。作品は2012年オペラ「白虎」（第11回佐川吉男音楽賞）、2018年「Sixteenth Montage」（セントラル愛知響委嘱作品）ほか、数多くの作品を発表。NHK2020応援ソング「パプリカ」の合唱編曲も手掛けている。

最新CDは2017年発売「PIANO COLOURS」（エイベックス・クラシックス）。2016年よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティーを担当。2019年より長野市芸術館レジデント・プロデューサーを務める。2022年4月、ひらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンバサダーに就任。



Official Website ▶